

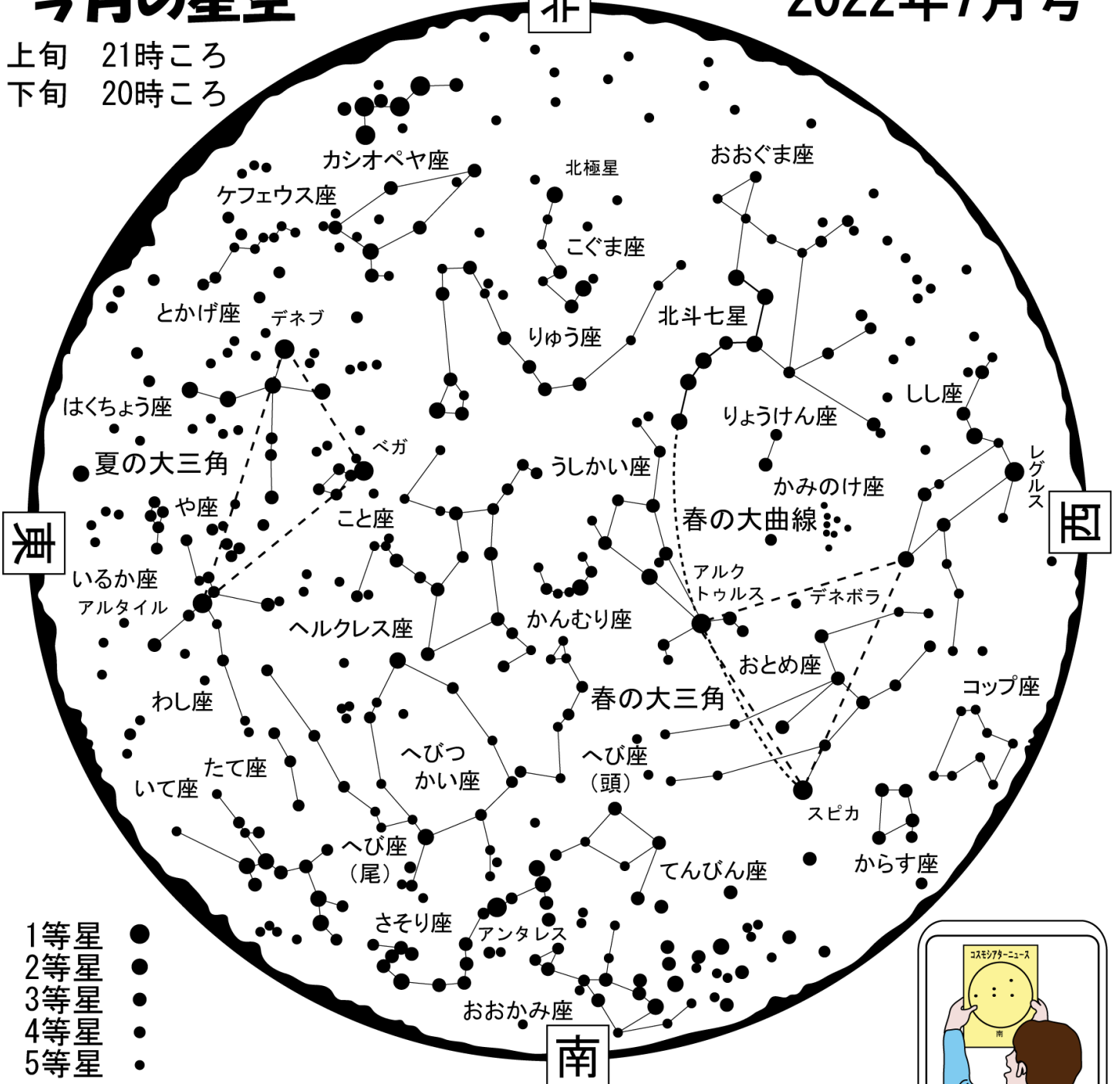
# コスモシアターニュース

## 今月の星空

北

2022年7月号

上旬 21時ころ  
下旬 20時ころ



冊

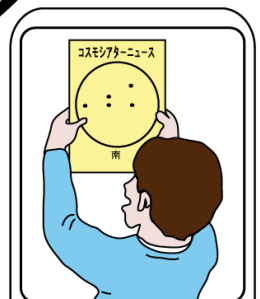
図

南

- 1等星 ●●●
- 2等星 ●●
- 3等星 ●●●
- 4等星 ●●●●
- 5等星 ●●●●●

## 今月の惑星

水星：見かけ上太陽に近く、見つめるのは難しいでしょう。  
 金星：明け方、東の低い空に見えます。明るさは-4等星です。27日、月と並んで輝きます。  
 火星：真夜中すぎ以降、東の空に見えます。明るさは0等星です。22日1時ころ、月が大接近します。  
 木星：真夜中以降、東の空に見えます。明るさは-2.5等星です。19日未明、月と並んで輝きます。  
 土星：23時(上旬)~21時(下旬)ころ、南東の空に見えます。明るさは0.5等星です。



自分の向いている方向を下にして、見てください

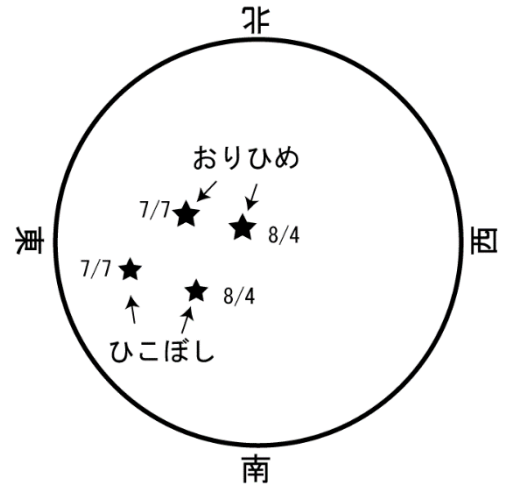
## 今月の月の満ち欠け

上弦：7日(木) 満月：14日(木) 下弦：20日(水) 新月：29日(土)

## 7日(木)、七夕

7日(木)は、七夕です。七夕は、おりひめ星とひこぼしが、一年で一度会える日だ、という昔の話があります。この七夕の話ができたころは、今使っている暦(こよみ)ではなく、月の満ち欠けを基準にした暦・太陰暦(たいいんれき)でした。太陰暦は、旧暦(きゅうれき)とも言われます。今年の旧暦の七夕は、8月4日(木)です。今の暦は、太陽の動きをもとにした太陽暦(たいようれき)と呼ばれるものです。この暦で行くと、7月7日はまだ梅雨の期間で、なかなか星を見ることすらできません。しかし、旧暦の七夕は、太陽暦の8月頃が多く、このころは夏本番でいい天気続きます。また、おりひめ星・ひこぼしともに空高く昇り、見やすくなっています。

右の図は、21時ごろの七夕の星の位置です。7月7日は、ひこぼしが東の空低い所にあります。しかし、8月4日には、南の空高い所に移動しているのが分かります。おりひめは、「ベガ」と呼ばれ、こと座に輝く1等星です。ひこぼしは、「アルタイル」と呼ばれ、わし座の1等星になります。



## 18日(月)、深夜の東の空で、月と木星が並んで輝く

18日(月)の23時ごろ、ほぼ半分欠けた月が東の空に昇ってきます。同じころ、この月の左側に昇ってくる明るい星が木星です。木星は大変明るいので、月の輝きにも負けず、大変目につくでしょう。そして、翌日の19日(火)は月が昇る時刻が、23時30分くらいと遅くなり、木星の下に移動します。昇る順番は、木星が先になり、月が少し遅れて昇ります。

## 22日(金)、月と火星が大接近

22日(金)の未明の午前0時すぎ、月と火星が重なって東の空に昇ってきます。この時は、月に火星が隠れて見えなくなる、火星食が起こっています。ただし、高さが低く、松山では月は見えないでしょう。そして、午前0時30分から午前1時ごろに、月が見えてくるようになります。しかし、火星食は終了し、月と火星が大接近の状態で見えるでしょう。月がまぶしいので、火星が見つけにくいかもしれません、こんな時は、双眼鏡を使って観察してください。オレンジ色の火星と、月が並んだ姿が分かります。月の高さが低いので、東方向に建物などの障害物のないところをご覧ください。

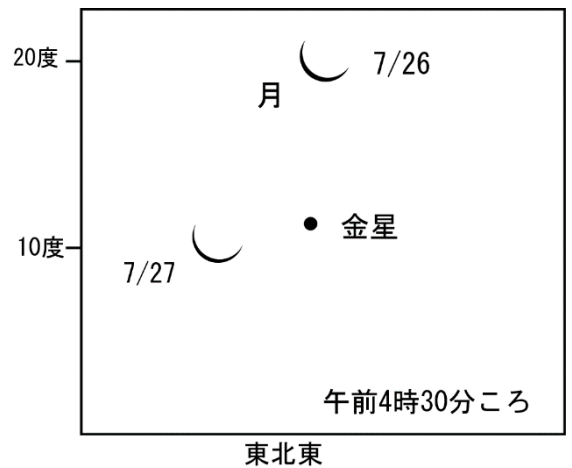
## 27日(水)、明け方、東北東の空で

### 月と金星が並んで輝く

27日(水)の月の出は、午前3時半ごろになり、三日月のように細い月となります。この月のすぐ右側に、昇ってくるのが金星です。金星の明るさは、-4等星で、一番明るい星ですのですぐに見つかる星です。ただし、高さが低く、建物に隠れて見えないことがあります。見晴らしのいいところをご覧ください。

また、前日の26日(火)は、月が午前3時前に昇り、月に遅れて、金星が昇ってくるようになります。

見やすいのは、午前4時~4時30分ごろのわずかな時間です。見える方向は、東から少し北寄りの、東北東の空です。



## 天の川を見よう

7月~8月は天の川が最も見やすい時期です。天の川は、雲のようにぼんやりし、街の明かりがあると見えなくなってしまいます。また、月が輝いている時も見えません。今月は、29日が新月ですので、この前後1週間程度が見ごろとなります。また、見やすい時間は、21時以降で、真夜中ころまで続きます。

人間の目は暗い所に行くと、すぐには暗闇に慣れません。ですから、明るい部屋の中から急に外に出ても、天の川が見えないのです。最低でも5分くらいは、夜空を眺めて下さい。

右の図は、7月下旬の22時ごろの様子です。雲のようにぼんやりとしたものが天の川です。実際の天の川は、南の空にある部分が一番明るく見えます。ちょうどさそり座のしっぽ方向です。そして、天の川をさかのぼって頭上を見ると、夏の大三角があります。

